

地方独立行政法人さんむ医療センター
平成25事業年度の業務実績に関する評価結果

平成26年7月

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会

目 次

年度評価の考え方	1
<評価の基本方針>	1
<年度評価の方法>	1
地方独立行政法人さんむ医療センター平成25事業年度の業務実績に関する評価結果	
第1 全体評価	
1 評価結果	3
2 全体評価に当たって考慮した事項	3
3 評価に当たっての意見、指摘等	4
第2 大項目評価	
1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	4
(1) 評価結果	4
(2) 判断理由	4
大項目評価に当たり考慮した事項	5
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	6
2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	6
(1) 評価結果	7
(2) 判断理由	7
大項目評価に当たり考慮した事項	7
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	8
3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価	8
(1) 評価結果	8
(2) 判断理由	8
大項目評価に当たり考慮した事項	8
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	9
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会委員名簿	10
○平成26年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	10

年度評価の考え方

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会では、平成 22 年 4 月 1 日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センターについて、法人化して 4 年目の平成 25 事業年度の業務実績に関する評価を行った。

<評価の基本方針>

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

<年度評価の方法>

当該年度計画に定めた事項ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の2つを併せて行った。

(1) 項目別評価の方法

項目別評価は、①評価委員会による小項目評価、②評価委員会による大項目評価の手順で行った。

① 小項目評価

評価委員会において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、年度計画の小項目ごとの進捗状況について評価を行った。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合には、評価委員会が評価の判断理由等を示した。また、必要に応じて特記すべき点などについてコメントを付した。

② 大項目評価

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの進捗状況について評価を行った。

(2) 全体評価の方法

- ① 評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み（さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など）を積極的に評価した。

地方独立行政法人さんむ医療センター平成 25 事業年度の業務実績に関する評価結果

第 1 全体評価

1 評価結果

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成 22 年 4 月 1 日に地方独立行政法人として設立され 4 年目の決算を迎えた。平成 25 事業年度の業務実績については、年度計画で掲げている 3 つの大項目評価「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する重要事項」において、中期計画目標数値の全ての達成には至らなかったが厳しい医療環境下で経営の安定に努力したことが認められ、全て B 評価とし第 1 期中期目標及び中期計画が終了した。

2 全体評価に当たって考慮した事項

- (1) 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、山武郡市医師会と連携した休日当番体制、山武郡市内 6 病院で構成する二次救急医療輪番体制において救急医療の役割を果たしたこと並びにがん診療連携協力病院として山武郡市内等の医療機関と連携体制を推進したこと、看護師確保対策として、看護実習生・職場体験者・インターンシップ実習生の受入れや、看護学生に対する奨学金貸付制度による貸付者が 16 名であったこと、看護師離職率も 7.3%と低い値であったことがあげられる。一方、平成 25 年 4 月当初 28 名であった常勤医師は、外科医師 1 名増員したものの内科医師 2 名、眼科医師 2 名、皮膚科医師 1 名が減員となり、平成 25 年度末の常勤医師数は 24 名となり厳しい状況であること、また看護師の人数が目標値に達しなかったことなどから課題があるが、サービスの向上と経営の効率化等に積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応え良好な業務結果を残したことにより **B 評価**とした。

- (2) 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目において、評価すべき内容は、理事会や管理職で構成する経営の質向上委員会及び病院の質向上委員会を定期的実施したこと、平成 24 年 4 月から開設した回復期リハビリテーション医療の充実及び平成 26 年 1 月に開設した緩和ケア医療の推進、DPC 導入推進等病床利用率の向上と効率的な業務運営を図った収益の増収を図ったことがあげられる。一方、人件費比率が若干下がったものの依然数値が高いこと、入院・外来患者数が目標に達していないことなどから、**B 評価**とした。

(3) 特筆すべき取り組み

- ① 医療機器について外科用X線TV装置他 27 品目について購入し、整備・更新を行ったこと。
- ② 山武郡市医師会と連携した休日当番体制及び病院群輪番制二次救急医療体制の実施に努力したこと。
- ③ 看護師の人材確保に努め、離職率が 7.3%であったこと並びにさんむ医療センター支援により認定看護師を 2 人増員となったこと。
- ④ 患者紹介率は、年度目標数値に対し 6.0%増の 44.8%、逆紹介率は、年度目標数値に対し 6.2%増の 24.8%であったこと。
- ⑤ 患者サービスの一層の向上のため、毎月 1 回の院内誌（なるとう通信）発行、病院ホームページ等にて、医療情報等をお知らせし、積極的に患者と住民へ情報提供を実施したこと。
- ⑥ 平成 26 年 1 月より緩和ケア病棟を開設し、がん患者の受け入れを強化していること。
- ⑦ DPC 導入推進により病院経営の充実を図ったこと。併せて効果的な後発医薬品（ジェネリック）の採用促進等を図ったこと。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 職員の就労環境の整備に努め、医師及び看護師の確保に努めること。
- イ なるとうこども園が近くにあり、病児保育等を充実させ、やりがいのある職場・働きやすい職場環境整備に努めること。
- ウ 回復期リハビリテーション診療及び緩和ケア診療の医療収益の向上に努めること。
- エ 今後の医療制度の改革と医療圏内における医療ニーズの変化を見据えて病床毎のデータを細かく分析し効率的な病院経営を図ること。
- オ 人件費比率を 50%代まで下げるよう努めること。
- カ 引き続き、二次救急医療輪番体制を担い地域の特性に配慮した医療に努めること。
- キ 損益については前年に引き続き 3 億 1021 万 8504 円の黒字となり、経営状況は、概ね順調である。

第 2 大項目評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B 評価

(2) 判断理由

小項目の集計結果（《第 2 表 小項目評価の集計結果》参照）では、B 評

価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置の中で、救急医療の充実、医療水準の向上、患者サービスの一層の向上、安心して信頼できる良質な医療の提供などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

《 第1表 大項目の評価方法 》

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項等の内容を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の4段階により評価する。

- A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- D：中期目標・中期計画の達成のためには改善事項あり

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目は、次の3件であった。

ア 医療機器等の計画的な整備及び更新〔項目番号：第2-1-（2）〕

医療機器等の整備及び更新を積極的に実施し、必要に応じた新規の購入を進めた。

また、医療機器等の整備及び更新を実施するため施設整備委員会を年2回開催し機種選定を行い順次購入を進めた。

イ 看護師及び医療技術職員の人材確保〔項目番号：第2-2-（1）-イ〕

看護実習生40名、職場体験14名、インターンシップ実習生11名を受入れた。奨学金制度については、看護学生16名への貸与を決定した。平成25年度看護師入職者7名、離職率7.3%

ウ 地域医療連携の推進〔項目番号：第2-2-（3）-ア〕

地域の中核的病院として、地域医療機関との医療連携を密にし、紹介患者を積極的に受け入れる。また、症状の安定した患者は、地域の医療機関への紹介を積極的に行った。他の医療機関への予約、必要な情報も連携室で行った。紹介率44.8%、逆紹介率24.8%

《 第2表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数 35 項目に対し、A：年度計画以上に実施している項目数が 3 項目、B：年度計画をほぼ順調に実施している項目数が 29 項目であり、割合は 32/35 と 9 割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供	3	1	1	1	
2 医療水準の向上	13	2	9	2	
3 患者サービスの一層の向上	8		8		
4 安心して信頼できる良質な医療の提供	5		5		
5 市の医療施策推進における役割	6		6		
合計	35	3	29	3	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 医師・看護師等の人的資源を確保出来るかが課題である。
- イ 看護師の離職率が 7.3%で低く、引き続き働きやすい魅力ある病院であることを存続すること。
- ウ 紹介率・逆紹介率が目標を上回っており、引き続き地域の中核病院として、地域医療機関と連携していくこと。
- エ 安心・安全な医療を地域に提供すること。

2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価

(2) 判断理由

小項目の集計結果（《第3表 小項目評価の集計結果》参照）では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置の中で、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立、効率的かつ弾力的な業務運営などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA（年度計画以上に実施している）の評価の項目は、次の1件であった。

ア 再雇用制度の活用の検討を図る。〔項目番号 3-2-（5）-エ〕

再雇用制度を活用し、就労環境の整備を図った。

平成25年度制度該当者8名

《 第3表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数21項目に対し、B：年度計画をほぼ順調に実施しているが19項目であり、割合は19/21と9割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる）と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1		1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	20	1	18	1	
合計	21	1	19	1	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 正規職員の短時間勤務制度等を実施することにより、職員の働きやすく働き甲斐のある就労環境の整備ができる。
- イ 職員への保育充実が離職率の低下につながる。職場環境を充実させる中で、院内保育をより充実させるなど、特に女性が働きやすい環境を作り、子育て支援について考慮すること。
- ウ 得意な診療科の充実を図ること。
- エ 後発医薬品(ジェネリック)の品目数ベースを数量ベースに変更すること。
- オ 費用の節減に引き続き努めること。

3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価

(2) 判断理由

小項目の集計結果(《第4表 小項目評価の集計結果》参照)では、B評価となる。下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、その他業務運営に関する重要事項の中で、施設整備の推進、地域医療再生交付金の活用などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

- ① 小項目評価がA(年度計画以上に実施している)の評価の項目はありませんでした。

《 第4表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数2項目に対し、B:年度計画をほぼ順調に実施しているが2項目であり、割合は2/2と全てを占めることから、小項目評価の集計では、B評価と評価した。

分野	評価対象項目数	A：年度計画以上に実施している	B：年度計画をほぼ順調に実施している	C：年度計画を十分に実施できていない	D：年度計画を大幅に下回っている
1 施設整備の推進	1		1		
2 地域医療再生交付金の活用	1		1		
合計	2		2		

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア 回復期リハビリテーション医療及び緩和ケア医療の更なる質の向上に努められたい。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	総合病院国保旭中央病院名誉院長
副 委 員 長	長 隆	東日本税理士法人代表
委 員	伊 藤 よしみ	山武市三師会会長
委 員	小 川 吉 孝	山武市議会議長
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院院長
委 員	亀 田 信 介	亀田総合病院院長
委 員	松 原 久 裕	千葉大学 大学院医学研究院 教授 医学部附属病院 副院長
委 員	水 田 宗 子	学校法人城西大学理事長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成 26 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
第 1 回 平成 26 年 7 月 7 日 (月) 山武市役所 第 5 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ① 地方独立行政法人さんむ医療センターの次期中期目標期間(平成 26 年度～平成 28 年度)の業務の財源に充当する積立金の承認について ② 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成 25 事業年度の業務実績評価及び財務諸表への意見について ③ 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける第 1 期中期目標期間の業務実績の評価について